

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定、実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	①基礎学力の定着、専門教育の充実、共通教科と専門教科のバランスに配慮した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的行動の促進を図る。	①教材の精選や授業の展開を工夫し、生徒の興味・関心を引き出す授業を行うことによって、学習への取組み状況を改善する。 ②学校行事や生徒会行事の活性化を図る。	①すべての教員が生徒の能力・資質に対応した授業を行い、生徒の理解を促進する。  ②行事や生徒会活動の事前指導を充実させ、目的を理解させた上で実施する。	①生徒の授業評価において、「説明の分かり易さ」の項目において、「かなり当てはまる。」と「ほぼ当てはまる。」合わせて85%以上となったか。  ②生徒が学校行事や生徒会活動に主体的に取り組めたか。
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かな生活指導に取り組むとともに、個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を確立する。 ②部活動の活性化を通して、生徒の達成感・連帯感・責任感を涵養する。	①生活指導における職員の共通理解を図り、個に応じた支援を行う。  ②部活動において、継続的、計画的に活動する。	①生徒指導における学校としての統一した基準のもとで、生徒一人ひとりの情報を共有して生徒指導に当たる。  ②部活動の参加状況を記録し、指導に当たる。	①生徒一人ひとりに対応した生徒指導を行い、問題行動を未然に防ぐことができたか。  ②年間を通して継続的、計画的に活動することができたか。
3 進路指導・支援	①生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導・支援の充実を図る。 ②これからの時代を生きて行く上で必要な資質・能力を育成するためのキャリア教育を推進する。	①生徒個々に対する、きめ細かい進路指導の充実を図る。 ②キャリア教育実践プログラムの見直しを図る。	①生徒一人ひとりに対応した進路相談を充実し、生徒自ら進路決定に向けた活動ができるようにする。 ②社会人として必要な知識や教養を身につけるための講演会を行い、発達段階に応じた指導を行う。	①生徒の希望する進路が実現し、進路決定率90%以上が実現できたか。  ②発達段階に応じて計画通りにプログラムを実施できたか。
4 地域等との協働	①地域産業・地域社会との連携・協働による教育活動の充実に取り組む。 ②地域や中学生に工業高校や定時制の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。	①地域と連携した取組みを実施する。  ②定時制の特色や最新の情報を発信するための整備を行い、広報活動を充実させる。	①定時制課程の特性を活かした地域と連携した行事を実施する。  ②地域の中学校訪問を行い、工業定時制をPRする。また、動画による紹介を含む管理が容易で見やすいホームページを構築する。	①地域と連携した行事を実施できたか。  ②ホームページを定期的に更新できたか。また、近隣中学校関係者の評価は良好か。(アンケート調査等)
5 学校管理 学校運営	①生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備、防災体制の整備に取り組む。 ②研修による意識啓発、業務の共有・協働・効率化を進め不祥事を未然に防止する。	①施設・設備の定期的な点検を行い、学習環境の整備を図る。  ②日常の業務内容を見直し、業務の効率化を図る。	①環境調査と設備点検により不具合箇所の早期発見改善を行う。また、夜間防災訓練を行うことにより、生徒を安全に避難させる体制を整える。 ②個々の職員提案を募集し、グループ横断的な会議について検討する。また、事故不祥事防止研修を毎月実施し、職員の意識を高める。	①環境調査、設備点検を定期的に行い、改善が行えたか。また、防災体制の確立は図れたか。  ②業務の見直しをして効率化が図れたか。